

府中・生活者ネットワーク わくわく通信

2015年 2月10日 NO.135 〈中央版〉

発行／府中・生活者ネットワーク
発行責任者／重田益美
〒183-0023府中市宮町2-15-1
Tel 042-360-4443 Fax 042-360-4462
fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
<http://fuchu.seikatsusha.me/>

府中・生活者ネットワーク

府中市議会議員 田村ちえみの
活動を紹介します



田村ちえみ

検索



田村 ちえみ

わくわく活動レポート

<http://tamura.seikatsusha.me/>

田村ちえみプロフィール

1961年 富山県高岡市生まれ
1977年 府中市立府中第三中学校卒業
1980年 都立府中東高等学校卒業
1982年 東京女子体育短期大学
児童教育学科卒業
八王子市内の幼稚園に勤務
1999年 生活クラブ生協府中支部支部委員
2002～2009年
(企) ワーカーズ・コレクティブ
軸サンス代表理事
2010年 府中・生活者ネットワーク事務局長
2011年 府中市議会議員初当選
文教委員会 再開発対策特別委員会
議会運営委員会
本町3丁目在住
家族 夫、一男一女、愛犬(ラブラドル)
趣味 トレッキング

男女平等社会の実現

女性も男性も互いに尊重しあい、生き生きと暮らせる社会をめざし、人権と男女平等の視点を大切にした教育や働き方をすすめます。また力による支配(DV・デートDV)をなくすために、防止と被害者支援の充実を図ります。

食べ物の安全性を大切に

子どもたちが安心して給食を食べ続けられるよう、遺伝子組み換え作物は使用せず、食材の放射能測定も継続して行ないます。地域の野菜を取り入れるなど地産地消をすすめ、農地を守ります。また、大規模一括調理の給食センター方式を見直し、食育や防災の面からも地域に分散した調理施設への転換をもとめます。

田村
ちえみ
さんを

応援
します



上田昌文

NPO法人 市民科学研究室代表
子どもは地域の中で育ちます。国の政策は、東日本震災以後も、決して環境や健康を優先したものになっていません。食、化学物質、ごみ、エネルギーなど、環境と健康に関わる多角的な問題を、子どもの成長の視点からとらえ、解決していけるのは、自ら立ち上がって行動する地域に住まう生活者です。生活者の声を市政に反映させるべく精力的に活動し、いくつもの実績を上げてこられた田村ちえみさんを推薦いたします。



松浦幸子

クッキングハウス代表
精神保健福祉士
今、大人も子どもも生き苦しくて悲鳴をあげています。こころの病気の人も増えて深刻です。地域全体を安心して暮らし、自分らしさを取り戻せる居場所にしなければなりません。こんな時、力を発揮できるのは生活者としての視点と判断力をもった女性の知恵と行動力です。集めた力が田村ちえみさんをおして地方議会に届くのです。

- 田中優 環境活動家
- 森田明美 東洋大学教授 子どもの権利東京市民フォーラム事務局長
- 山田真 小児科医師
- 天笠啓祐 科学ジャーナリスト
- 山内玲子 東京・生活者ネットワーク都議会議員

若者、女性がいきいきと、 多様な働き方ができる社会に



若者の就労支援を行
なう「ハローライフ」
(大阪)を視察

困難を抱えてしまった若者の「就労支援」のために、行政が若者サポートステーションなどの事業に取り組んでいます。十分な支援にはなっていない

「経済が上向きになり、就職内定率も上がった」と言われています。しかし若者の3人に1人は非正規雇用、女性の非正規雇用の割合も男性より高いのが現状で、多くの若者や女性が将来の不安を抱えながら仕事をしています。職場におけるさまざまな人間関係に疲弊し、自信をなくしてしまうなど、困難を抱えてしまっていることも、大きな社会問題となっています。

自治体も、若者と地域の中小企業とつなげるような就職先を斡旋したり、若者が自ら事業を起こす際に、無担保で融資をしたり、事務所の貸し出しを無料で行なうなどの支援ができるのではないのでしょうか。若者や女性が困難を抱えていても支援が受けられる仕組みを提案しながら、地域でいきいきと働きつづけることができる府中のまちづくりをすすめていきます。



府中・生活者ネットワーク 田村ちえみの提案

- 子どもの育ちを応援する**
 すべての子どもに多様な学びの場を提供する。出産前から一人ひとりのSOSを受け止める仕組みをつくり、虐待を未然に防ぐ。
- 誰もが地域で暮らし続けるために**
 住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、医療、介護、住まい、生活支援などのサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」のしくみをつくる。
- 環境に配慮した持続可能なまちづくりをすすめる**
 原発に依存しない持続可能な自然エネルギーの利用をすすめる。
- 食べ物の安全性を大切に**
 大規模学校給食センターでの一括調理方式を見直し、食育、防災の面からも、自校式や、地域分散型の給食にする。
- 男女平等社会の実現**
 人権や男女平等の視点に立った学校教育、社会教育をあらゆる場面ですすめる。
- 人権、平和を守る社会を地域から**
 学校教育・生涯教育を通じて地域で平和と人権を学ぶ機会をつくる。

わくわく市民のつどい 2015

3月15日(土) 14:00~

府中グリーンプラザ大会議室

第1部 講演

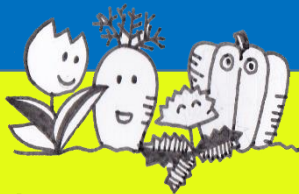
「世界に広がるシティ・ファーマー！
都市農業で地域コミュニティを再生するために・・・」

講師 白井和宏さん
(市民セクター政策機構・専務理事)

第2部 みんなで考える

地域コミュニティのこれから

3人の候補予定者、田村ちえみ、
泉ちず子、西のなお美より挨拶



3つのルール
生活者ネット
ワーク

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
 生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し議員を特権化しません。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
 生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金にいかし、お金の流れは公開しています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで行ないます**

わくわく街頭演説会
2015年5月8日
14時~
フォーリス前

